



安曇野日和

連載コラム 院長室だより 病院長 桑村 智

2013年1月に日本医療機能評価機構Ver.6.0を受審、同年4月に認定を受けての早4年が経過しました。2017年の新年式に医療機能評価機構の更新に向けたキックオフ宣言をしましたが、この5年の間に機能評価のバージョンが新しくなっています。

これまでは病院を運営するにあたって必要となる規程や各委員会の記録などをサーベイヤーに提示し、現場で活用されている様子をケアプロセスでチェックを受けるという方法でした。これらについては篠崎前院長の下、職員が一丸となって準備を進め好成績で認定を受けることができました。

新しいバージョンでは、これまでの機能評価で求められたものは有って当たり前で、その上で各病院の特色に合わせて如何に活用しているのか、あるいは機能的に存在しない部門については如何に工夫をして「漏れや落とし」を防いでいるのかを、一人の患者さんの入院から退院までの流れを追って評価する方法へと進化しました。

従って、これまでのように書類がベースになるのではなく、患者さんが入院してから、私たちがそれぞれの職種を活かしてどのように関わり患者さんにどうなって欲しいのか、また患者さんやご家族の要望に対してどのように応えていくのかを明確にして、治療の現場でしっかりと説明できるようにしていく必要があります。

当院が経験した、過去2回の機能評価とは様相が異なりますが、独自に努力している点や自信を持って取り組んでいることなどについては、いわゆるストロングポイントとしてどんどんアピールをして欲しい、とサーベイヤーも語っています。機能評価に向けたワーキンググループも既に始動しました。これからは良い流れに乗って、力を合わせて準備を進めていきましょう。

表紙写真

写真タイトル：「咲きかけの桜」

撮影者：樋口 孝

昨年、もうすぐ満開になる敷地内の桜を、病院の建物をバックに撮影しました。

12月 クリスマス会

平成28年12月21日（水）に院内の体育館において病院行事のクリスマス会が開催されました。今年のクリスマス会は、病院長のQUEEN・影絵の読み聞かせ・ハンドベル・ダンスや歌などのステージ発表が行われました。



体育館は、患者さんが作業療法で作製した、ゆきだるまやクリスマスリースで飾り付けがされ、とても華やかでした。多くの患者さんが参加され、賑やかなクリスマス会となりました。



ここ数年の病院行事では、職員によるステージ発表が多く企画されており、練習の時間も職員同士の良いコミュニケーションの機会になっています。今後も、患者さんに楽しんでいただけるような行事を開催していきます。



1月 病棟レク 書き初め・三九郎

平成29年1月4日（水）に、2-2病棟で年始恒例の書き初めレクが開催されました。

病棟のホールで、『正月・はる・新年』など書き初めらしい言葉を患者さんと職員と一緒に書きました。みなさん真剣な表情で集中して書き初めに取り組んでいました。おやつの中にはおもちの代わりにワンタンの皮を浮かべたお汁粉を食べました。



平成29年1月11日（水）に、2-3病棟の三九郎レクが開催されました。

午前中に喫茶室で繭玉を作り柳の枝に刺し、焼くときに焦げないようにアルミホイルを巻きました。農場では、やぐらの組み立てを行い、立派なやぐらを作ることができました。



午後、例年通り年男の患者さんがやぐらに点火し、あっという間に燃え広がりました。雪はありましたが、お天気にも恵まれ、幸先のよいレク始めとなりました。



2月 病棟レク 節分



平成29年2月22日（水）に、1-3病棟で節分レクが開催されました。

今回のレクでは、豆まき気分を味わえるように玉入れを行いました。空き箱に鬼の顔をつけて、口を開けたものや、おかめの顔をつけたものなど、さまざまな大きさの的を作り点数をつけたものに、決められた場所からイスに座ってお手玉を投げ入れて合計点数を競いました。



レクは食堂で行い、参加した患者さんを赤と白の2チームに分けて、チームカラーのはちまきを巻きました。みんなでストレッチをしたあと、1人ずつ投げる場所に移動し、お手玉を3回ずつ投げました。



座って投げる競技のため、車いすの患者さんも参加しやすく、みなさん楽しそうに高得点を狙っていました。



3月 病棟レク ひなまつり

平成29年3月1日（水）に、2-2病棟でひなまつりレクが開催されました。

今回は、病棟から作業療法室へ移動して、男性の患者さんは髪を整え、女性の患者さんは身だしなみを整えお化粧をしました。その後、おしゃれをした患者さんがお1人ずつ写真館のような雰囲気写真撮影を行いました。

普段、あまりおしゃれや、お化粧をする機会がない患者さんも多く、レクの間は、鏡を見て微笑んだり、ポーズを決めて写真を撮ってもらったりして、楽しんでいる様子でした。



レクの最後に、「うれしいひなまつり」をみんなで歌い、病棟へ戻ってから、おやつに甘酒と和菓子を食べました。



レクの最後に、「うれしいひなまつり」をみんなで歌い、病棟へ戻ってから、おやつに甘酒と和菓子を食べました。



防火防災訓練

平成29年1月18日（水）に夜間の火災を想定した防火防災訓練を実施しました。夜間は、職員数も少なく、連絡・連携が取りにくいことが課題としてあがり、今回はトランシーバーを使った訓練を行いました。

今回の訓練で、通常業務で扱うことがないトランシーバーの取り扱いについて再確認し、電話とは違う災害時の連絡・連携の取り方について再度考えました。



第51回長野県精神科病院協会職員研修会

平成29年3月4日（土）に安曇野スイス村サンモリッツにおいて、第51回長野県精神科病院協会職員研修会が開催されました。今回の研修会は中信地区の病院が開催担当で、当番病院として村井病院が開催運営を担当されました。県内の多くの精神科病院から、150名程が参加し、当院からは7名参加しました。



第1部の研究発表では、当院の臨床心理士が、介護療養型医療施設で取り組んだ認知症老人入院精神療法の3年間の活動の結果について発表しました。第1部では各病院から9題の研究発表がされました。

第2部の特別講演では、信州大学医学部精神医学教室の鷲塚伸介教授による、双極性障害について、診断と治療をととても分かり易く講演して頂き、今後の病院・地域で支援の参考になりました。今後も、この研修会へ少しでも多くの職員が参加する必要性を痛感しました。

病院の理念

慢性期の患者さま一人一人の病状・置かれている状況を個別的に考え人格を尊重し、全職員が職種を超えてチームを組んで一体的に治療目標が達成できるように最良のサービスを提供する。

病院の基本方針

1. 地域への貢献
2. 医療安全・サービスの質の向上
3. 職場の環境づくり
4. 地域連携
5. 経営の健全化

精神科療養病棟150床・老人性認知症疾患療養病棟50床

患者さまの権利

患者さまは、人間として尊重され差別されることなく、公平で良質な医療を受ける権利があります。そのため私達は治療を始める際には、診療についての情報をご本人に説明しご理解いただいた上で患者さまのプライバシーを守り、意思を尊重し継続性のある医療を提供します。

〒399-8103
長野県安曇野市三郷小倉6086-2
TEL 0263-76-5500(代) FAX 0263-76-5501

社会医療法人 城西医療財団

ミサトピア小倉病院

編集後記

3月と言えば、別れの季節、新生活への引越し、人事異動、年度末の決算等、何かとけじめをつける季節なのだと思います。冬の寒さから一転、暖かい日差しがうれしく、花の香りや春の野菜などが店頭に並びだすと、また今年も暑い季節に向かっての新たな希望や目標を持っていく季節なのだと思います。年度末までに広報誌を無事に発行できたことは、委員全員の協力があったからこそつくづく思います。

樋口 孝